

事務局便り 実行委員のつぶやき～宮城編

こんにちは、事務局の本多です。仙台も随分と秋が深まりました。大会まで残すところ 1 か月になりました。戦々恐々の日々です。思ったよりも地元東北の参加者が増えず、気をもむ日々です。

さて、今回の大会では、福島県の岡本先生の天皇・皇后両陛下にも紹介したことがある遊びの会を実演します。この会は、手作りの遊具で子ども達の遊び場を作ります。身近な材料で作成し、子ども達に様々な感覚運動体験を提供しています。地元の宮城では、学校や児童発達支援事業所・放課後等デイサービスなどで少ない予算の中でどうやって子どもたちの体験の幅を広げることができるか頭を悩ましていることを耳にします。そんな方々には、今回の遊び場づくりを見て体験して自分たちの活動に是非生かしていただけたらと思っています。感覚統合の立場からの説明も聞けると思います!!

遊びの会もある大会 2 日目は、療育の現場で実践されている方向けの一日です! 他にプログラムとして、教育講演が 2 つあります。「感覚統合理論を生かした実践～児童発達支援事業所編～」 「感覚統合理論を生かした実践～特別支援教育編～」です。2 つの講演ともに、講師は感覚統合インストラクターの先生方です。日々の実践に必ずためになると思います。2 日目だけの参加であれば、東北の方は 3300 円とお得な価格となっています。

非会員（1 日参加：地域価格） 大会 2 日目（11 月 30 日）のみ参加される方が対象です（東北北海道エリアの方限定）	3,300 円
--	---------

さらに、手作りの遊び場だけではなく!! 宮城県の高橋さんの取り組みである牧場でポニーや牛やヤギなどの動物や、牧場（まきば）の自然を生かした活動を紹介します。彼女は、日本作業療法士協会の海外研修の助成を受けて、アメリカの Lois Hickman.OTR に会いに行き、彼女の活動からの学びを生かして活動しています。その活動を本人自ら紹介します!



さらに、今回の実行委員の身につける T シャツについて紹介します。デザインは当事者の方が担当してくださいました。伊達政宗からインスピレーションを受けた“武士ロボット KUROWA”。身体を動かすためには、自分についたボタン等を順番に動かさないと歩いたり、物を持ったりできない。さらには、手足と胴体が離れており、手足が自分の身体の一部という感覚がなく、うまく体を取り扱えないロボットです。当事者だからこそ、デザインできた KUROWA。ぜひ会場に見に来てください。